

2017年10月26日
JR東日本長野支社

中央線新型特急車両 E353系の営業運転開始について

～12月23日（土）デビュー～

現在、首都圏と中央線主要駅を結ぶ特急列車として「スーパーあずさ」・「あずさ」・「かいじ」を運転しておりますが、「スーパーあずさ」で使用しているE351系の後継として、2017年12月23日（土）より快適性やセキュリティ等を向上させた新型車両E353系が営業運転を開始します。

1. 営業運転開始日

2017年12月23日（土）

下り：スーパーあずさ1号から / 上り：スーパーあずさ4号から

2. 運行区間

新宿駅～松本駅 ※2017年12月23日時点

3. 導入する編成数

36両（3両3編成、9両3編成） ※2017年12月23日時点



E353系

4. E353系を使用するスーパーあずさ

4往復8本の「スーパーあずさ」にE353系を使用します。 ※2017年12月23日時点

下り列車	車種	上り列車	車種
スーパーあずさ1号	E353系	スーパーあずさ4号	E353系
スーパーあずさ5号	E351系	スーパーあずさ6号	E351系
スーパーあずさ11号	E353系	スーパーあずさ14号	E351系
スーパーあずさ15号	E351系	スーパーあずさ18号	E353系
スーパーあずさ19号	E351系	スーパーあずさ22号	E353系
スーパーあずさ23号	E353系	スーパーあずさ28号	E351系
スーパーあずさ29号	E353系	スーパーあずさ32号	E351系
スーパーあずさ33号	E351系	スーパーあずさ36号	E353系

※所要時間に変更はありません。

※新型車両で運転する「スーパーあずさ」は当面の間、大型時刻表で「新型車両で運転」と記載いたします。

5. E353系の特徴

(1) 外観コンセプト

伝統の継承、未来への躍動

(2) 内装コンセプト

南アルプスと梓川の「きよらかさ」、ビジネスの「機能性」とレジャーの「高揚感」

(3) 客室設備

- 室内照明にLED間接照明を採用
- 空気清浄機を設置
- 空調を個別吹き出しにしたことで、各座席で風向きと風量の調節が可能
- 各座席にノートパソコンを置けるテーブルとコンセントを設置
- フルカラーLEDの車内案内表示器を設置
- 荷物置場を普通車の1・3・5・7・10・12号車、グリーン車の9号車に設置

(4) 乗り心地

- 空気ばね式車体傾斜装置の導入による、E351系の振り子式に比べて左右の揺れが少なく自然な乗り心地
- 走行中の揺れを軽減する動揺防止制御装置を全車両に搭載することで乗り心地を向上

(5) セキュリティ

- 各デッキ（左右）に防犯カメラを設置
- 各客室と洋式トイレに乗務員と通話可能な非常通話装置を設置

※詳細は別紙をご参照ください。

<参考> E 3 5 3 系量産先行車からの主な変更点

内 容	量産先行車	量産車
動揺防止制御装置	一部先頭車両とグリーン車に設置	全車両に設置
車体間ダンパ	全車両に設置	なし
荷物置場	なし	1・3・5・7・9・10・12号車に設置 ※9号車はグリーン車

6. E 3 5 3 系量産先行車について

2015年8月より各種走行試験などを行ってきた量産先行車は、営業運転のための必要な改造（量産車化改造）を行った後に営業投入する予定です。

7. その他

本プレスリリースは2017年10月現在の情報であり、今後のスケジュール等には変更が生じる場合があります。

以上

【別表】 E 3 5 3 系と現行車両（E 3 5 1 系・E 2 5 7 系）との比較

内 容		E 3 5 3 系	E 3 5 1 系	E 2 5 7 系
				
営業運転開始日		2017年12月23日	1993年12月23日	2001年12月1日
編 成		基本編成：9両編成 付属編成：3両編成	基本編成：8両編成 付属編成：4両編成	基本編成：9両編成 付属編成：2両編成
定 員		9両編成 (グ:30名 普:494名) 3両編成 (グ:なし 普:150名)	8両編成 (グ:50名 普:423名) 4両編成 (グ:なし 普:240名)	9両編成 (グ:28名 普:530名) 2両編成 (グ:なし 普:120名)
最高速度		130km/h	130km/h	130km/h
車 体		アルミニウム合金製	鋼 製	アルミニウム合金製
制御方式		VVVF インバータ制御	VVVF インバータ制御	VVVF インバータ制御
シートピッチ		グリーン車：1,160mm 普通車：960mm	グリーン車：1,160mm 普通車：970mm	グリーン車：1,160mm 普通車：960mm
車体傾斜制御方式		空気ばね式車体傾斜方式 (傾斜角度：最大 1.5 度)	制御付き自然振り子方式 (傾斜角度：最大5度)	な し
主 な 設 備	動揺防止制御装置	全車両	な し	な し
	大型トイレ	改良型ハンドル形電動 車いす対応	車いす対応	車いす対応
	多目的室	2ヶ所（基本・付属）	1ヶ所（基本編成）	1ヶ所（基本編成）
	荷物置場	1・3・5・7・9・10・ 12号車 ※9号車はグリーン車	デッキ（7号車を除く） ※2編成にはなし	なし
	非常通話装置	客室内および全ての洋式 トイレ内に設置	・客室内に設置 ・車いす対応トイレに 連絡ブザーを設置	・客室内に設置 ・車いす対応トイレに 連絡ブザーを設置
	防犯カメラ	各デッキに設置	な し	な し
	室内照明	L E D	蛍光灯	蛍光灯
	座席コンセント	各座席に設置	な し	な し
	空気清浄機	全車両に設置	な し	な し
	可動式マクラ	各座席に設置	な し	グリーン車のみ
	AED	あ り	な し	な し
	個別調整機能付 空調装置	あ り	な し	あ り
	車内案内装置	フルカラー表示	3色表示	3色表示

外観 コンセプト「伝統の継承、未来への躍動」

あずさのDNAを引き継ぎながら、日本の中央を走り抜けるダイナミズムを表現

あずさバイオレット
あずさの伝統色の継承



ストリームブラック
風を切って疾走していくキャノピーの
流線形を強調する塊感のあるブラック



キャッスルグレー

やや青みのあるメタリックグレーにより
松本城の青みがかった漆黒を表現

アルパインホワイト

南アルプスの雪色を表現

ロゴ



「E」の上半分に車体のストリームラインと同じ紫のラインを施し、全体の輪郭が側面の窓を連想させることで外観との世界観を統一しています。



転落防止放送

基本編成と付属編成の連結部より転落防止放送が流れます。

LED採用

前部標識灯、後部標識灯それぞれにLEDが採用されています。

内装

●普通車

コンセプト「南アルプスと梓川のきよらかさ」
…シンプル、清涼、透明感を表現



●グリーン車

コンセプト「機能性と高揚感、クラス感」
…モダンでシンプルだが上質、機能的な鮮やかさを表現



コンセント

各座席にコンセントが設置されています。
※一部座席では肘掛に設置されています。

大型トイレ

改良型ハンドル形電動車いす対応トイレが設置されています。



防犯カメラ



各デッキ部に設置されています。

可動式マクラ

E257系ではグリーン車のみ設置されていましたが、E353系では普通車にも可動式マクラが設置されています。

テーブル

E351系に比べテーブルが大きくなっています。
※一部座席を除く。



荷物置場

一部の車両に荷物置場を設置。(1・3・5・7・9・10・12号車)



車内照明

JR東日本の在来線特急電車では初めてLEDを採用。

